



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」  
2016年1月24日

### 2016年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 毎日少しでも聖書を読もう。
3. 祈り会に参加しよう。
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

#### ◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈祷会 : 水曜日 7:30pm  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 榊原 宣行 (日語部)  
           : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)

E-Mail : nobu@occc.org

教会 Facebook : オレンジ郡キリスト教会

教会所在地 : 4872 Bishop St.  
Cypress, CA 90630

□石 叫□

「David Bowie」

ロック歌手 David Bowie さんが亡くなった。髪を染めて革ジャンを着てエレキギターをかき鳴らしていた青春時代の私にとって、Bowieさんは憧れの存在であった。うつり変わりの激しい音楽業界にあって、Bowieさんは70年代から現在に至るまで第一線で活躍した数少ないミュージシャンの一人で、世界で最も成功したロックスターの一人と言えるだろう。

70年代のロックミュージシャンたちの多くが経験したドラッグへの依存。それは同時代を生きたボウイさんも同様であったという。そしてそれは彼を苦しめ、人生を奪うほどになってしまった。しかしそんな頃、Bowieさんはキリスト教と出会っている。他の宗教にも造詣が深かったというから、どこまで彼がクリスチャンとしての信仰を持っていったのかどうかは私は分からない。だがコンサートで「主の祈り」をひざまずいて祈っていた姿を私は見たことがあるので、イエス様を信じる気持ちを持っていたことは確かだろうと思う。

Bowieさんが亡くなったその日、妻のJanさんは「The struggle is real, but so is God (苦しみは本物、そして神も)」とフェイスブックに投稿した。病との闘い、そして痛みや苦しみは現実として襲ってきたが、神様は生きて働いてくださった、そこにある救いは本物であると、それがこの言葉の意味だと思う。

「わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。」詩篇四二:1-2 (口語訳)

私たちが襲い来る苦難は、容赦なく私たちの人生を破壊するかのように見える。しかし神様を待ち望む者は、必ずそれらに勝利することが出来る。これは聖書の約束である。

#### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

